



八幡小だより 11月号

令和8年10月30日
八潮市立八幡小学校
児童388名 15学級

優しい思いやりの心

校長 小久江 桂子

秋の気配が深まり、朝夕はひんやりとした風が感じられる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

先月実施いたしました修学旅行では、保護者の皆様の温かいサポートのおかげで、子どもたちと素晴らしい時間を過ごすことができました。

1日目の鎌倉グループ活動では、歴史ある街並みや大仏の迫力に目を輝かせながら仲間と協力し合う姿がどのグループにも見られました。

2日目の箱根では、豊かな木々と静かな湖などの雄大な自然に包まれ、開放感とともに笑顔があふれる時間を過ごしました。

歴史の重みに触れ自然の美しさに親しんだこの旅で、何よりも私の心に強く残ったのは、旅先のあちらこちらで見られた子どもたちの『優しい思いやりの心』です。

鎌倉でのグループ活動中のことです。少し坂道が続く場所で、Aさんが転んでしまいました。その様子に気が付いたグループの仲間がすぐに駆け寄り、「大丈夫？痛む？」という言葉はもちろん、保健係さんがすぐに処

置し、「もう少しゆっくり歩くようにしよう！」とお互

いに声をかけ合い支え合う姿を目にしました。誰に指示されたわけでもなく、目の前の友達の困りごとに気付き、自分にできることを自然と考えて行動する子どもたちの姿。学校外でも、八幡小のなかよし宣言『仲間を思いやります。自分がされて嫌なことはしません。』の行動化が図られていました。

『人が困っているときに手を差し伸べられる優しさや思いやりの心』。学校教育の中でも大切に育てたい力の1つです。旅先という非日常の場面でも、行動化できていることに感動と頼もしさを覚えました。

修学旅行を通して一段と成長した子どもたちの姿を嬉しく思うとともに、御家庭でのさまざまな御協力に、あらためて深謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。



八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。
ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)